

第4次厚真町総合計画 実施計画シート

事業名	人工透析患者等送迎サービス事業	担当課	担当グループ	作成者(職・氏名)
		3 住民課	33 福祉グループ	主査・辻 友理子

実施計画年度(期間)
R 5 年度 (R5 ~ R7)

事業評価対象年度
R 4 年度

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	平成 28 年度	事業主体	会計区分	予算科目					
	事業終了年度	令和 7 年度			1 町	1 一般	03 01 02	0400	001	10
事業の性質	法令に基づかない自主的事業				条例等の有無	有				
根拠法令・例規計画等	厚真町人工透析患者送迎サービス事業実施要綱									
総合計画	基本目標	2	健やかで安心なあつま							
	基本施策	7	社会福祉・障がい者福祉の充実							
	施策項目	74	障がい福祉サービスの充実							
	復旧・復興計画	99	その他							
	総合戦略	99	その他							
	厚真町強靱化計画	9999	その他							
政策展開方針 (R2~R6)	大項目	9	その他							
	中項目	9	その他							
	施策項目	9999	その他							

2 事業概要 (Plan)

事業の目的	腎臓機能の障害により人工透析法を受けている者及び車椅子を使用しなければ移動できない者に対して、通院のための送迎サービスを行うことにより、身体的及び経済的負担を軽減し、もって人工透析患者等の福祉の増進を図る。
事業の内容 (手段・方法等)	人工透析患者等の通院のための送迎サービス事業を、社会福祉法人厚真町社会福祉協議会に委託して、送迎サービス用自動車を実行し行う。 対象 自力(家族等の介助を含む。)で通院することが困難な人工透析患者等で、次の各号に該当する者とする。 ①町内に居住し、住民基本台帳法に基づき登録されている者又は、外国人登録法に基づき登録されている者。 ②身体障害者福祉法の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者。 ③その他、町長が特に必要と認めたる者。
対象	上記による
成果目標	送迎サービスを利用した人数

3 実施結果 (Do)

① 事業費

単位：千円

事業費の推移	H28 (前期1)	H29 (前期2)	H30 (前期3)	R1 (前期4)	R2 (前期5)	R3 (後期1)	R4 (後期2)	R5 (後期3)	R6 (後期4)	R7 (後期5)
	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画
事業費	3,564	3,688	3,623	4,026	4,076	4,234	4,556	5,768		
特定財源	国支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	道支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	町債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,564	3,688	3,623	4,026	4,076	4,234	4,556	5,768		
人件費 (※4,000時間数)	138	138	138	138	138	138	138	138		
積算根拠	/						委託料・自動車保険料・車両購入償還金	委託料・自動車保険料・車両購入償還金		
主な年次計画 (取組)							/			
ヒアリング 指示事項 ※企画調整G記入欄	/									

② 実績・成果

指標名称 (前期)		H28 (前期1)		H29 (前期2)		H30 (前期3)		R1 (前期4)		R2 (前期5)		R3 (後期1)		R4 (後期2)		R5 (後期3)		R6 (後期4)		R7 (後期5)		
		数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	
主な活動指標	送迎車両稼働日数 (1年のうち日曜日・休院日を除く)	目標	313	日	313	日	313	日	314	日	313	日	313	日	313	日	313	日	313	日	313	日
	実績	313	日	313	日	313	日	314	日	313	日	313	日	313	日		日		日		日	
	達成度	100	%	100	%	100	%	100	%	100	%	100	%	100	%	—	%	—	%	—	%	
※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する																						
主な成果指標	利用者数	目標	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人
	実績	10	人	10	人	11	人	13	人	12	人	9	人	9	人		人		人		人	
	達成度	100	%	100	%	110	%	130	%	120	%	90	%	90	%	—	%	—	%	—	%	
※数値化できない成果や指標の変更等について記載する																						

4 事業の評価 (Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か?	A	人工透析患者は標準頻度週3回、1回4時間程度の透析可能な病院への通院を要する。公共交通機関では通院できず、家族の送迎や自家用車での通院困難な方が暮らすうえで生命線となっている。
有効性	期待された成果が得られたか?	A	人工透析患者、その家族の負担軽減となっており、事業が実施されることによって町内で生活していくことが可能となっている。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か?	A	他事業者ヒアリングを行ったが、事業受託は困難であり、見積り算結果においても適正と考えられる。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等 (Action)

予算	継続 (現状維持)	サービス	継続 (現状維持)	方向性	現状維持
理由	人工透析は患者にとって生きていくうえで必要な治療であり、通院のための代替手段がないため、継続して実施していく必要がある。				
課題および改善提案	<p>○現在、「月・水・金」「火・木・土」のローテーションで運行しているが、送迎車両の定員 (車椅子2台の場合5名) により、行き先の病院、透析日程、運行経路等の調整を図る必要があるほか、利用者の居住地により運行時間の長時間化が懸念される。</p> <p>○定員超過を防ぐために、病院による送迎対象地域拡大検討依頼を今後も継続していく必要がある。</p>				

※予算・サービスは「継続 (拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択する。

6 内部評価 (本欄は、内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

予算	継続 (現状維持)	サービス	継続 (現状維持)	方向性	現状維持	意見
						本事業を利用 (登録) していない人工透析患者等に対しては、別事業により人工透析受診に係る交通費が助成されており、町としてきめ細やかな障がい福祉サービスが提供できている。より安心して住み慣れた地域で暮らしていけるまちづくりに資することから、現状維持による事業継続が妥当である。

7 外部評価 (本欄は、外部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

評価実施年月日	R 5 年 11 月 20 日	予算	継続 (現状維持)	サービス	継続 (現状維持)	方向性	現状維持
付帯意見 (全体意見)	○より安心して住み慣れた地域で暮らしているまちづくりに資する事業である。						
その他意見 (個別意見)	○引き続き、定員超過や業務負担の軽減に資する取組について検討すること。						

8 外部評価に対する町の考え方

回答年月日	R 6 年 2 月 29 日
○今後も人工透析患者及びその家族が安心して地域で暮らしていけるよう、引き続き委託先及び関係機関と連携を図り定員や業務内容の調整を行ってまいります。	